

福島市スマートシティプラン2023

令和4年11月に行った「福島市デジタル都市宣言」は、本市が目指すデジタル社会像を示したものであり、市民共創で、高齢者にもやさしいデジタル化を市民生活と地域全体に浸透させ、「デジタル化で便利で豊かな新ステージ」を目指すものです。

このデジタル都市に向けた施策を盛り込んだ「福島市地域情報化イノベーション計画」の令和5年度の実行計画として、全庁的なICT活用の推進状況を共有し、関連する所属におけるデジタル化の取り組みを着実に推し進めるため、令和5年度に取り組むICT関連施策を取りまとめた、「福島市スマートシティプラン2023」を策定するものです。

(標記の説明)

★は福島市デジタル都市宣言 推進施策

1 ICTを活用した市民サービスの向上 ……地域情報化イノベーション計画 基本的方向性

行政手続きのオンライン化・窓口サービスの拡充 ……地域情報化イノベーション計画 重点推進施策

(1) デジタルファーストのサービス向上 ★

① 行政手続きのオンライン化の推進 ……推進施策の区分を記載

・ 具体的な取組を記載

1 ICTを活用した市民サービスの向上

行政手続きのオンライン化・窓口サービスの拡充

(1) デジタルファーストのサービス向上 ★

① 行政手続きのオンライン化の推進

- ・ 行政手続2,979中、206手続がオンライン化（6.9%）・・・令和5年1月時点
- ・ マイナポータル「ぴったりサービス」の手続拡充・・・R5年2月時点 179手続
- ・ マイナポータル「ぴったりサービス」によるマイナンバーカードを利用する手続きも含めたオンライン申請を拡充。
- ・ 法人のオンライン申請の推進のため、jGrants※（ジェイグランツ）の導入検討 ※デジタル庁が運営する、補助金の電子申請システム
- ・ コンビニ交付に未対応な証明発行も含めてキャッシュレス決済が可能な、戸籍・住民票・税証明のオンラインシステムの導入
- ・ 公共施設予約システムの活用促進



② 書かない窓口・窓口DX SaaSの導入検討

- ・ 福島県「ICTアドバイザー市町村派遣」制度の活用
- ・ 各種届出を一括して取り扱うことで、市民が「待たない」「書かない」「動かない」窓口の推進。

マイナンバーカードの普及・サービスの拡充

① マイナンバーカードの交付促進

- ・ 申請受付や交付事務に係る体制強化を継続し、マイナンバーカードの更なる取得率向上を図る。

② マイナポイント申込手續サポート

- ・ ポイント申込期限が令和5年9月末まで延長となったため、引き続き、市役所1階及び6支所（清水・北信・飯坂・松川・信夫・吾妻）にサポート窓口を設置します。



③ 国と連携し、マイナンバー情報総点検の推進

2 ICTを活用した市民生活を豊かにするまちづくりの推進

市民ニーズに応える情報発信

(1) デジタル活用によるコミュニケーションの強化 ★

- ① LINEによる情報発信・市民通報、各種イベント予約
 - ・ オンライン予約できる各種相談・講座・イベント等を拡大します。
 - ・ 福島市デジタルくーぽん事業によるLINEお友達数の拡大。
- ③ YouTube・Instagramなどを活用した情報発信・情報共有

データ利活用環境の充実と共創のまちづくり

(1) デジタルを活用した販わいの創出 ★

- ① デジタルスタンプラリーの実施
 - ・ ふくしま花回廊デジタルラリー
 - ・ ふくしま圏域スタンプラリー

(2) オープンデータの整備・活用

- ① GISメッシュデータの追加・更新
 - ・ 航空写真の更新
 - ・ 人口メッシュの掲載
 - ・ 防火水槽と消火栓の掲載



地域社会のデジタル化の推進

(1) 市民総ぐるみのデジタル化 ★

- ① ふくしまデジタル推進協議会の運営

ふくしまデジタル推進協議会



(2) 新たなコミュニティと共生社会の形成 ★

- ① 電子町内会の活動促進
 - ・ 町内会活動において電子メールやウェブサイト等のICTツールを活用して会員まで送付するなど、情報伝達の電子化の取組を促進。
令和4年度 38町内会 ⇒ 令和5年度 44町内会
- ② デジタルクラブの立ち上げ支援
 - ・ 学習センターでデジタル化について学びあうデジタルクラブの立ち上げを支援。

(3) 市民相互のサポート・学びあい ★

① 高齢者デジタル活用サポート事業

② スマートフォン利活用支援講座開催

- ・ スマートフォンの入門・活用講座やシニア ICT サポーター育成講座、出張出前講座を年 150 回程度開催します。

③ ふくしまデジタルサポートデスクの設置運営

- ・ デジタルに関することならどんなことでも気軽に相談可能な窓口を設置します。



(4) デジタル人材の育成・確保 ★

① デジタル人材バンクの設置運営

- ・ 市内で活躍したい思いを持つデジタル人材と、課題を持つ中小企業や団体等のマッチングを行います。

② シルバー人材センター ICT 班活動支援

- ・ シルバー人材センター ICT 班の活動を支援し、高齢者のサポート体制を強化します。

③ 地域活性化企業人の活用

- ・ 総務省の制度を活用して富士通 Japan 株式会社の社員（デジタル人材）を受け入れ、地域全体のデジタル化を一層推進します。

(5) 子育て支援、教育のデジタル化 ★

① 学校・児童施設において、保護者との間の連絡や調査業務を原則デジタル化するなど、施設関係業務のデジタル化の推進

② 福島型オンライン授業の推進

③ 学習者用デジタル教科書の全校導入

- ・ 小学校5年生以上に算数科、中学校全学年に数学科デジタル教科書を導入し、今後のデジタル教科書導入に向けて検証します。

④ 学校図書館の ICT 化

- ・ 小中特別支援学校の学校図書館の電子化と学校間や市立図書館と連携するシステムを整備し、児童生徒の読書活動や家庭学習を推進します。

⑤ 電子図書館の運用

⑥ デジタル市史のデータ整備・公開

(6) デジタルを活用した産業の振興 ★

① 福島市デジタルくーぼん事業の実施（再掲）

- ・ 地域経済の下支えを図り、また、市民生活の利便性を高めるデジタル化を推進するため、電子クーポンを発行する。
- ・ この事業を契機として、事業者のデジタル化をさらに促進する。

② 中小企業団体における事業者デジタル化に向けた主体的取組に対する支援

③ スマート農業の推進

(7) 医療のデジタル化と健康づくり ★

① 救急車での12誘導心電図伝送システムの運用

② マイナンバーカードでの健康保険証利用促進

(8) 地域課題の解決に資する独自のデジタル化の取組の検討

- ・ オープンなデータ連携基盤を活用するなど、地域課題の解決を図るデジタルサービスの開発を検討します。

3 ICTを活用した行政事務の高度化・効率化

行政内部の事務の高度化・効率化

① システムの導入や運用による高度化・効率化

- ・ 電子入札の実施
- ・ ICT活用による業務効率化（RPA、AI-OCR、音声文字起こしシステム、文書生成AI等）
- ・ 議会答弁検討システムの運用
- ・ 災害対策オペレーションシステム（河川水位予測システムの導入）
- ・ GISを活用した家屋管理システムの構築

議会答弁検討システム



② システムの標準化とガバメントクラウドへの対応

- ・ 住民記録、税、福祉などの業務システムの標準化行い、令和8年からガバメントクラウド

(国データ基盤)で運用するため、DX 推進ワーキンググループにおいて BPR を行いながら、移行計画の作成を行う。

③ DX推進員の育成と活用

- ・ アナログ業務のデジタル化（紙台帳からデータベース化など）を推進します。
- ・ 庁内における活用人材の育成を図り、行政事務の高度化・効率化を推進するため、各種研修を実施し、職員のデジタルスキルの底上げを図ります。

④ ペーパーレスの推進・押印廃止の徹底

情報セキュリティの確保

① セキュリティ強靱化対策

② 情報セキュリティ研修の実施